

令和7年度 [1]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 (1) 自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考えることができる。 (2) 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身につけることができる。
----	---

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	困難を乗り越える力 社会のきまり	・困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く強い意志の大切さに気づく。 ・進んできまりを守ろうとすることが、よりよい社会の実現につながることに気づく。 ・筆者の生き方を考えることで、人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることに気づく。
	5月	弱さを乗り越え生きる 言葉のもつ不思議な力 友達のよさ よりよい社会のために	・自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づく。 ・自分にも友達を励まし支えていくことができることに気づく。 ・身近であっても解決が一筋縄ではない現代的な問題について自分の考えをもつ。
	6月	礼儀の心 いじめのない集団 心から信頼できる友達 心がときめくとき	・あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることに気づく。 ・人間としてよりよい集団を築くためには、いじめなどを見て見ぬふりをしてはならないことに気づく。 ・ロールプレイをとおして、心から信頼できる友情について深く考える。 ・相手の心や思いを素直に受け止め、互いの人格を尊重し合う関係を築くことが大切だと気づく。
	7月	みんなが同じがよいのか ともに生きる	・生命は連続とつながっており、関わり合い支えあってきたことを深く自覚するとともに、与えられた生命を精一杯生きようとする態度を養う。
二 学 期	9月	安全への心構え 多文化の理解を深める 公平とは何か 生まれてきた大切な生命	・日々の生活を振り返り、安全や防災への意識や具体的な行動について考える。 ・困難があってもお互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことが大切だと気づく。 ・友達の意見を聞きながら、公平の意味についての考えを深める。 ・人々を懸命に救おうと頑張るマザー・テレサの姿から、命の重さについて気づく。 ・競技の勝ち負けを超えて、お互いを大切にし、力を合わせて集団で取り組む意味に気づく。
	10月	みんなをまとめる力 心のこもった仕事とは 自分の意志で 働くことの尊さ	・新津さんの生き方から、働くことの喜びを通じて社会とつながるよさに気づく。 ・クラスの一員として自らの役割と責任を自覚し、協力しあって学校生活を充実させようとする態度がみられる。 ・社会における自らの役割や将来の生き方を考える。 ・法やきまりが果たしている社会の役割について気づく。
	11月	自他の権利と法の遵守 つながりが生み出す力 つながる生命	・よりよい社会を実現するためには、一人ひとりの意識を高め、力を合わせて行動に移すことが大切だと気づく。 ・筆者や家族の思いを考えるを通して、周りの人々の思いの上に自分が生きていることに気づく。 ・地域に伝えられてきた伝統文化を、自分たちが受け継いでいく大切さに気づく。 ・自然の一部としての人間という認識を持ち、自然を守ることの大切さに気づく。
	12月	郷土芸能を伝える 自然を愛する 自然に感動する心	・オーロラ的美しさや神秘さを自分の自然体験と比べながら感じ、自然に対する畏敬の念を深める。

三 学 期	1 月	支えあう家族 伝統を守る	・家族から受けている無償の愛情や激励に気づく。 ・史峰の生き方に触れることにより、日本の文化や伝統を大切にし、日本人として誇りをもって生きようという思いをもつ。
		世界平和のために	・ゆかりの気持ちの変化を捉えることで、国際的視野から世界平和と人類の発展を考える大切さに気づく。
	2 月	誠実な生き方	・こうすべきだと分かっているけどできない人間の弱さを乗り越え、責任をもつことの大切さに気づく。
		お互いを認め合う	・余りをつくらない生き方のために、お互いの存在を認め尊重し合うことが大切なことに気づく。
		人間として生きる喜び 社会の中の思いやり	・フランクの心情の変化を追いかけて、誰もがもつ人間の弱さ、醜さに気づく。 ・多くの人の善意により社会生活が成り立っていることに感謝し、人間愛の精神をもって思いやりの心をもつ
	3 月	ふるさとへの思い	・郷土の伝統と文化の良さを理解し郷土への誇りや愛情を持ち、郷土に対して主体的にかかわろうとする実践意欲をもつ
		理想に向かって	・鈴木さんの生き方を手がかりに、自分にとって実現したいと思える理想を見つけようとする意欲をもつ。

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしている姿を文章評価する

令和7年度 [2]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともにによりよく生きるための道徳性を養う。 (1)道徳的な判断力、心情を養う。 (2)道徳的な実践意欲と態度を育てる。
----	---

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	自分の弱さの克服	・自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さを持ち、人間として気高く生きようとする態度を育む。
		働くということ	・働く喜びを得て自分の仕事に誇りをもつことが充実した生き方につながることを理解して、主体的に将来の生き方を考えようとする実践意欲を引き立てる。
		心を形に	・礼儀が相手を尊重し敬愛する気持ちにつながることに気づく。
	5月	支えあう生命	・生命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。
		自分を信じて	・登場人物の考え方をとおして、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力の大切さに気づく。
		本当の友達	・心から信頼できる友達について考えを深める。
		個性を尊重する社会	・正義の公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む。
	6月	真実を追い求める	・真理や真実を求め、理想の現実を目指して、よりよく生きようとする態度を育てる。
		国際社会の一員	・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重しながら、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。
		規則の役割	・互いにすみよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
	7月	地域の伝統の大切さ	・郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。
		私たちでつくる校風	・集団で協力し合う大切さに気づき、狭い仲間意識を超えよりよい校風を作ろうとする意欲を育てる。
		自然の偉大さ	・自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力をはるかに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。
二 学 期	9月	自己を見つめる	・人それぞれにかならずその人固有のよさがあることを理解し、その発見と自己受容、自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。
		社会のためにできること	・社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。
		私の中の日本	・国際社会に生きる日本人としての自覚や、我が国の伝統と文化への誇りを持ち、そのよさを発展させ、発信していこうとする実践意欲を育てる。
	10月	初心に戻る	・目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成をめざして、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。
		真の友情	・障がいにとわたり尊敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し、互いに認め、高め合う友情を育もうとする態度を育てる。
	11月	自然環境を守る	・人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けていることを理解し、そのありがたさに感謝するとともに、自然を守り大切にしようとする態度を育む。
		わかり合うこと	・人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。

	12 月	調和のある生活 家族のきずな 日本文化の心 さりげない優しさ 美しいしきたり 責任ある行動	・調和のある生活や節制を心がけるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活をみなおし、思慮深く内省しようとする態度を養う。 ・自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。 ・我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。 ・相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。 ・社会連帯の根底にある相互扶助や思いやりの心を理解し、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。 ・誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動して、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。
三 学 期	1 月 2 月 3 月	規則を守る 真の国際協力 思いやりへの感謝 懸命に生きる 友情と好意 強く気高く生きる 輝く生命 いじめへの公正な態度 社会への貢献	・きまりは幸福な社会を実現するためにあることを理解し、それを遵守しようとする判断力を育む。 ・それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、そのうえで日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度を培う。 ・人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、それに感謝しようとする態度を育てる。 ・限り有る生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。 ・真の友情は悩みや葛藤を乗り越えることで培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める。 ・人間にある弱さや醜さを自覚しながらも、強く気高く、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を深める。 ・かけがえのない生命を与えられていることに気付いて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。 ・偏見を正し、正義を貫こうと決意する主人公「僕」の姿に共感することを通して、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。 ・それぞれの職業が社会の発展に貢献していることを理解し、将来の生き方について考えを深めようとする実践意欲を養う。

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしているかを文章評価する

令和7年度 [3]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための道徳性を養う。 (1)道徳的な判断力、心情を養う。 (2)道徳的な実践意欲と態度を育てる。
----	--

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	人間の気高さ より高い目標をめざして おもてなしの心 日本の伝統文化	・弱さを乗り越え、次に向かっていく人間がもつ強さや気高さに気づく。 ・目標に向かって諦めずに努力する大切さに気づく。 ・出迎え方を体験することで、形の根底にある礼儀の意義に気づく。 ・先人が育んだ伝統と文化に優れたものを見出し、自らも伝統と文化を受け継ぐ役割を担っていることに気づく。
	5月	いじめを許さない心 本当の友情とは 世界平和と人類愛	・主人公の心情から、加害者の無頓着さや傲慢さに気づく。 ・共感場面や葛藤場面をとおして、本当の友情について考える。 ・外交官としての職責や家族の安全と、人種を超えた命の大切さとの間で苦悩する杉原千畝をとおして、世界の平和や人類の幸福について考える。
	6月	生きている心の奇跡 自分で決めたこと 勤労の尊さ ともに生きる社会の実現	・生かされていることの尊さや生命のつながり、かけがえのない生命に気づく。 ・よりよい人生に向け、主体的に考え誠実に実行する大切さに気づく。 ・働くことによって社会とのつながりが実感できることに気づく。 ・よりよい社会を実現するために、自ら進んで参画することの大切さに気づく。 ・自分自身を見つめ、経験を活かした生き方をしようとするよさに気づく。
	7月	前向きな生き方 かけがえのない郷土	・郷土に対する自分自身の思いを考え、郷土に貢献したいという思いをもつ。
二 学 期	9月	相手の気持ちを考える 豊かな人権感覚 人を好きになる 法やきまりの意義 自制する心	・自他の発する言葉の向こうにそれを受け取れる他者がいることや、異なった意見や考えを受け入れることの大切さに気づく。 ・差別や偏見のない社会の実現の大切さについて考える。 ・異性を尊重し、互いに高め合う関係を築くことの大切さに気づく。 ・規則は何のためにあるのかについて考えを深める。
	10月		・人生をより豊かにするためには望ましい生活習慣を身につけることが大切なことに気づく。
	11月	本当の思いやり 公共の場での心構え 仕事の意義 自然とともに生きる	・日常の中での出来事から思いやりがどういうものか考え、深める。 ・社会の課題に気づき、安心して生活できる社会にするためにどうしたらよいか自分の考えをもつ。 ・仕事をするとはどういうことか考えを深め、勤労意欲を高める。 ・人間と自然との共生のあり方を理解し、自然愛護に努める態度を育てる。
	12月	自然への畏敬 自他の生命の尊さ 夢の実現 日本の文化を受け継ぐ 世界平和を考える 周りへの感謝	・筆者の感動に共感しながら、自然に対する畏敬の念を抱く。 ・臓器提供について自分の考えをもち、生命に対する畏敬の念を深める。 ・よりよくいきたいという願いや、新しいものを創造していくことへの意欲をもつ。 ・能楽などの伝統文化を受け継ぎ発展させることの意味や意義について考える。 ・マララの姿をとおして、世界平和を自分のこととして考える。 ・おばさんたちの気遣いについて考えることで、身近な人への感謝の気持ちをもつ態度を育てる。
三 学 期	1月	自律的な生き方 家族の在り方 よりよい社会の実現 規律ある社会	・よいと思ったことを自分の意思で行動する大切さに気づく。 ・「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安に気づき、家族の在り方について考えを深める。 ・よりよい社会の実現に向けて、社会参画していくことの大切さに気付く。 ・社会の規律のために法や決まりを守ることの大切さに気づく。
	2月	よりよく生きる 我が校を愛する心	・オードリーの生き方を通して、自分の人生をよりよく生きることについて自分の考えを深める。 ・主人公の心情をもとに、自校の校風や伝統を継承し発展させる大切さに気づく。
	3月		・生命の尊さや有限さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

		かけがえのない命	
--	--	----------	--

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしているかを文章評価する。